



知っていますか？ ペットフードのこと



北陸農政局「消費者の部屋」

展示期間：令和8年8月3日（月）～8月31日（月）



【知っていますか？ペットフードのこと】①

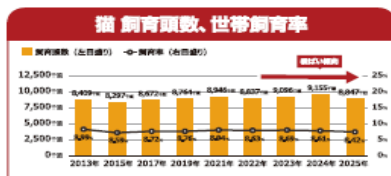
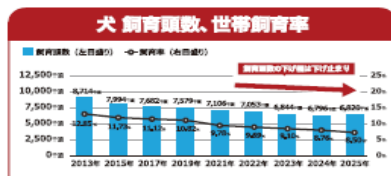
2025年 全国犬猫飼育実態調査

◎日本のペット飼育の現状

飼育頭数、飼育世帯率は、下図のように、犬は下げ止まり、猫は横ばいが続く状況です。

犬の飼育頭数：約682万頭（飼育世帯率：8.50%）／猫の飼育頭数：約885万頭（飼育世帯率：8.42%）

ペット飼育頭数の減少、横ばい傾向は、『単身世帯の増加』と『2人以上世帯の減少』『少子高齢化』『晩婚化』『有職主婦の増加』『しつけをする自信がない』『ペットの価格高騰』や『デフレ経済環境』などの要因が挙げられます。またペット非飼育者への、今後の新規飼育意向調査では、飼育にかかる『費用』と『お世話』への負担等の理由で、ペットの飼育をためらう要因になっています。



◎ペット飼育の効用の調査

ペットを飼育することによる家族への良い影響として以下の回答が得られました。

- ◆犬の飼育者の回答は、
 - 子供への効果** 「ゲームやスマートフォンを触っている時間が減った」「外で遊ぶ時間が増えた」
 - シニアへの効果** 「外出する機会が増えた」→社会との接点が増えて、認知症の発症リスクが低下。
- ◆猫の飼育者の回答は、
 - 各年代への効果** 「気持ちが明るくなった」「ストレスを抱えなくなった」が多い。

飼育者の意見から、ペットは「生活に喜びを与えてくれる」存在であり、健康面や情緒面等、人と人をつなぐ大切な存在であることがわかりました。

◎全国犬猫飼育実態調査（上記以外の調査項目）

上記の現在ペットを飼育している方の実態調査の他に、ペットの飼育をこれから希望されている方への調査やペット飼育に関する支出等、以下のような多方面から様々な調査を実施しています。

- **ペット飼育の阻害要因や年代別の傾向**
～「生体価格の高騰」や「飼育費用」や「飼育経験がないので、不安」等の結果でした。
- **犬猫などの動物に触れ合う機会の有無と、飼育意向率・飼育率に相関が見られた**
～犬猫ともに、直近飼育開始者のほうが飼育意向者よりも、直近1年以内に直接犬猫と触れ合う機会が多かった。飼育意向から飼育に繋げるには、直接犬猫と触れ合う機会の創出が重要。

全国犬猫飼育実態調査
詳しくはこちら



ペットフード協会では、様々な調査を通じて情報を数値化し、ペット飼育を更に促進するための課題に対応する取り組みを実施しています。

ペット飼育が介護費の抑制に影響

高齢化の進展に伴う介護費の増大に対し、ペット飼育は介護予防効果のみならず、介護給付費が約半額に抑制されることが初めて明らかになりました。

※地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センターの研究成果より

介護費がペット飼育者は、非飼育者と比較すると、約半額に！

ペット非飼育者に比べてペット飼育者では介護費が約半額に抑制されていることが示されました。

一方、ペット飼育者と非飼育者との間に、医療費に差はみられませんでした。



これは、ペット飼育者では、利用する介護サービスの利用頻度が低いことや、軽度の介護サービスの利用に繋がっていることが考えられます。

高齢化の進展に伴う介護費の増大に対して、犬や猫の飼育は介護予防効果のみならず、介護費の抑制にも寄与することが示唆されました。

ペットを飼育することによる役割、責任感、活発で規則正しい生活の維持など、介護費に反映する可能性のある日常生活の自立・自律に関する多面的な要因が介護費の抑制につながったと考えられます。



研究成果の概要

本研究は、2017年に埼玉県比企郡鳩山町での疫学調査に応答した460名の調査データを使用。研究対象者の平均年齢は77.7歳、男性の割合は61.6%でした。

有病率は、高血圧が51.1%、脂質異常症が37.4%、骨関節疾患が27.4%、心疾患が22.2%、糖尿病19.3%、脳血管疾患10.7%であり、要介護認定割合は6.3%、これらの該当割合は、①ペット飼育者と②ペット非飼育者との間に有意な差はみられませんでした。ペット飼育割合は20.9%で、このうち24.0%が犬及び猫の飼育、42.7%が犬のみ飼育、24.0%が猫のみの飼育でした。

①ペット飼育者と②ペット非飼育者の調査時の月額介護保険サービス利用費は676円と1,420円であり、調査期間中における月額介護費の比は最小1.2最大2.3と有意な差がみられました。一方で、調査時の月額医療費は、①ペット飼育者が48,054円、②ペット非飼育者が42,260円であり、調査期間中における月額医療費の比は、最小0.9、最大1.2と有意な差はみられませんでした。



谷口 優 先生
プロフィール

（略歴）
2012年 秋田大学大学院医学研究科理学 医学博士
東京都健康長寿医療センター研究所研究員
2014年より東京大学大学院医学系研究科老健研究員
2019年より国立環境研究所主任研究員
〈受賞歴〉
2011年 歩幅の研究にて米国老年医学会賞手記奨励賞を受賞
2016年 日本老年医学会優秀論文賞
2018年 日本公衆衛生学会総合優秀口頭発表、長寿科学賞を受賞
2020年 Geriatrics & Gerontology International Best Article Awardを受賞

【知っていますか？ペットフードのこと】②

ペットと暮らす高齢者、東京の1万人を調査

犬の飼育で介護のリスク半減

～国立環境研究所や東京都健康長寿医療センターの研究チームの研究より～
国立環境研究所の谷口優主任研究員チームの調査研究

東京都内の65～84歳の男女1万人以上を、2016年6月から2020年1月まで約3年半の健康状態を追跡。

犬の飼育は、高齢者の健康に良い影響

調査開始時点で介護が必要な状態ではなかった1万人以上の高齢者のデータを統計的に分析。

過去に一度も犬を飼ったことがない高齢者の自立喪失（要介護や死亡）になるリスクを1とすると、**犬を飼育している高齢者のリスクは0.54倍と約半減することがわかりました。**

また、過去に犬を飼っていた高齢者についてもリスクは2割ほど低いこともわかりました。



このような傾向は、リスクの増減を左右する要因（年齢・性別、持病、飲酒や喫煙、収入、同居人数等）の影響を調整した結果であり、犬を飼育している高齢者の自立喪失リスクが統計的に低いことが確認できました。

また、犬を飼育している高齢者のうち、定期的に運動をしている高齢者では自立喪失のリスクがさらに低くなることも確認されました。

本研究結果から、毎日の犬の散歩による身体的効果や、飼い主同士の交流による、心理的・社会的な効果が示唆され、犬を飼育する高齢者の健康に良い影響を及ぼしたと考えられます。

猫の飼育は、高齢者にどんな影響？

一方、今回の調査では、猫を飼っている高齢者の自立喪失リスクに明らかな予防効果は確認できませんでした。

しかし、猫の心理的な効果が先行研究で報告されており今後の研究により猫の飼育経験が高齢者の健康に良い影響が示されることが期待されます。

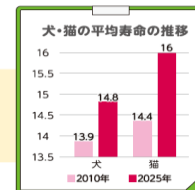


安全・安心なペットフードをお届けするために

ペットフードについて、日本の安全基準よりも欧米のペット先進国の安全基準の方が高いのではないかと、日本国内で流通されているペットフードは、欧米のペットフードに比べ安全面や内容が劣っているのでは？という評価が一部にあります。実際はどうなのでしょう。

日本のペットの平均寿命の伸長

日本で暮らすペットの平均寿命は、伸長しています。
長寿の要因としては、犬猫の食事の変化、栄養学の進歩とペットフードの進歩、ペットの暮らしの環境の変化、動物医療の進歩などがあげられます。



一般社団法人ペットフード協会調べ

「ペット先進国」との平均寿命の比較

日本とアメリカやイギリスの犬・猫の平均寿命はほぼ同じ

犬 大型犬が人気の欧米と、超小型・小型犬が人気の日本では住宅事情等や生活環境も違うこと、平均寿命の調査方法も異なるため、一概に平均寿命を比較することはできませんが、日本でも犬のより良い生活環境等が整備されてきたことにより、平均寿命に関して、欧米と遜色のないレベルにまで伸長してきました。

猫 猫の平均寿命に関しても、栄養学や獣医学の研究が進んだことや、室内飼育も増えていることから、アメリカやイギリスとほぼ肩を並べています。

ペット先進国の犬の平均寿命の比較			
	イギリス(※1)	アメリカ(※2)	日本
超小型犬	～14歳	～17歳	約15歳
小型犬	～13歳	～15歳	約15歳
中型犬	～13歳	～15歳	約14歳
大型犬	～13歳	～13歳	約14歳

ペット先進国の猫の平均寿命の比較			
	イギリス(※3)	アメリカ(※4)	日本
猫	約14歳	約14歳	約16歳

イギリスとアメリカの犬のデータは、犬種別の調査です。詳細は、下記のURLよりご確認ください。

※日本の犬・猫のデータは、一般社団法人ペットフード協会調べ

(※1) RSPCA
URL: <https://www.rspca.org.uk/factbooks/breeds/pets-longs/health-centroids>
(※2) American Kennel Club
URL: <https://www.akc.org/health-care/health-how-long-dogs-live/>
(※3) RSPCA
URL: <https://www.rspca.org.uk/factbooks/breeds/pets-longs/health-centroids>
(※4) Catster
URL: <https://www.catster.com/cat-health/how-long-do-cats-live/>

ペットフード安全法の制定

～世界で初めて犬猫用のペットに特化した法律として制定されました～

一般社団法人ペットフード協会では、安心してお使いいただけるペットフードをお届けするために、1969年に設立のペットフード工業会の時代より、自主的な独自の規制やルールを設け、ペットフードの品質を保ち、ペットの健康を守るための努力を重ねて参りました。2007年の春、海外でペットの大規模な健康被害が発生したことを契機に、日本国内でも「ペットフードを規制する法律が必要」という声が高まりました。そのため環境省と農林水産省の共管のもと、2009年6月「愛がん動物用飼料の安全性の確保に関する法律（通称ペットフード安全法）」が施行されました。ペットフード協会も様々な情報提供等の、制定に協力を行いました。

詳細は、こちらをご覧ください



【知っていますか？ペットフードのこと】③

～犬・猫の健康を守るために～

ペットフードについて考えよう

栄養が偏っているかも…？

犬は雑食！猫は肉食！ ■ 1,000kcalの食事に含まれるたんぱく質の推奨量の比較
犬と猫では、必要な栄養素の割合が大きく違います。



塩分の取り過ぎ…？

人の食べ物と犬猫にとって塩分が多く、肝臓や心臓に負担をかけてしまいます。

犬	猫
0.18g	0.33g

■ 塩分の多い食べ物の例 (10gあたりの食塩量)



年齢に合ったペットフードかな…？

年齢と共に、食事量や栄養素のバランスも変化します。

■ 猫の成長に合わせた食事の例



おやつのもらい過ぎ…？

おやつは1日に必要なカロリーの20%までを目安にしましょう。

与えすぎは、偏食の原因やしつけの妨けになります。



犬・猫に与えてはダメな食べ物

※この他にも犬猫の体調や与える量によって注意が必要なものがあります。



不明な点はかかりつけの獣医師に相談しましょう。

適切なペットフードを与え、犬猫の健康を守るのは飼い主の責任です！

環境省は、ペットフードの安全性を確保することを目的とした法律（通称：ペットフード安全法）を所管しています。

※法律の対象となるのは、犬と猫のペットフードです。



環境省

■ 詳しくは環境省HPをご覧ください！

環境省 ペットフード

検索



犬猫用

そのジビエジャーキー きちんと加熱されていますか？



ジビエのおやつ 食べたいワン

目に見えない病原体(ウイルス、細菌、寄生虫)から大切な家族を守るために。
十分に加熱処理された犬猫用ジビエジャーキーを選びましょう。



大切なのは「加熱」

【参考】人が食べる肉における加熱の目安
野生鳥獣肉による食中毒の発生を防止するため、中心部の温度が75℃で1分以上又はこれと同等以上の効力を有する方法により、十分に加熱する必要があります。

出典「野生鳥獣肉の衛生管理に関する指針」(厚生労働省)



発行者/ジビエペットフード品質向上推進協議会

本ポスターは、農林水産省「令和7年度鳥獣被害防止総合対策交付金」により作成しました。

【知っていますか？ペットフードのこと】④

ジビエペットフードの製造等に関する 詳しい情報はこちらからご覧いただけます

● ジビエのペットフード利用等に関する情報

(農林水産省 鳥獣対策・農村環境課ホームページ)

- ▶ ペットフード利用の取組事例
- ▶ ジビエペットフード原料に関するマニュアル など

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/gibier/petfood.html>



● ペットフードの安全に関する情報 (製造事業者向け)

(農林水産省 畜産安全管理課ホームページ)

- ▶ ペットフード安全法 届出や帳簿に関するマニュアル
- ▶ ペットフードの適正製造マニュアル
- ▶ ペットフードの衛生管理マニュアル
- ▶ ペットフード安全法 表示チェックシート
- ▶ 事業者のみなさま向け Q & A
- ▶ ペットフード安全法 (法律、省令、通知等) など

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/petfood/index.html>



● ジビエ(野生鳥獣の肉)の衛生管理に関する情報

(厚生労働省 食品監視安全課ホームページ)

- ▶ 野生鳥獣肉の衛生管理に関するガイドライン
- ▶ カラーアトラス
- ▶ 野生鳥獣肉 (ジビエ) に関する Q & A など

※人の食用のジビエに関する情報ですが、衛生管理の参考となる情報をご覧ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/01_00021.html



● 発行者

ジビエペットフード品質向上推進協議会

本リーフレットは、農林水産省「令和7年度鳥獣被害防止総合対策交付金」により作成しました。

犬猫用ジビエジャーキーを製造する事業者様へ



鹿肉や猪肉はビタミンや鉄分などの栄養が豊富で、特に鹿肉は高たんぱく・低脂質なため、これらジビエを利用したペットフードの人気が高まっています。特に、ジャーキーはおやつとして人気があり、多種多様なジビエジャーキーを見かけるようになりました。

しかし、野生鳥獣は一般的に多種多様な病原体(ウイルス、細菌、寄生虫※)を潜在的に保有している可能性が高いことが知られています。

そのため、野生鳥獣肉の利用にあたっては、食中毒などを防ぐために、十分に加熱するなど注意が必要です。

本リーフレットは、ジビエジャーキーを製造する事業者のみなさまへ向けて、原料の仕入れから製造、出荷の各工程において特に注意すべき衛生管理などを整理しました。ここに記載出来なかった詳しい情報は、裏面の各ホームページからご覧いただけますので、安全なジビエジャーキーを製造するための参考としてご活用いただけますと幸いです。

※ジビエに由来する感染等リスクについて
*ウイルス: E型肝炎ウイルス、重症熱性血小板減少症ウイルス(SFTS)など
*病原細菌: 肉毒大腸菌、サルモネラ属菌など
*寄生虫: トキソプラズマ、住肉粒子虫など



ペットフードを
製造する前に

犬猫用ペットフードを販売用として製造する場合には個人・法人を問わず、「愛がん動物用飼料の安全性の確保に関する法律(以下「ペットフード安全法」)」に基づき「愛玩動物用飼料製造業者届」の届出が必要です。

また、帳簿の備付けや表示基準、成分規格、製造方法の基準などもありますので、詳しくは以下の農林水産省ホームページからご確認ください。

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/tikusui/petfood/>



【知っていますか？ペットフードのこと】⑤

原料の仕入れ

- どんな原料肉でも使用できる訳ではありません。
- 原料の仕入れ基準とその確認方法を決めましょう。

01

変色・異臭
なし

ドリップ
なし



異物混入
なし

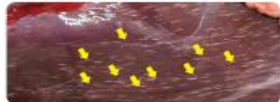
- ▶鮮度が良い原料(施設基準に基づき、止めしき後一定時間内に処理施設に搬入されて処理された原料)を使用しましょう。
- ▶解凍時にドリップが多かったり、変色や異臭がある原料の使用は控えましょう。
- ▶弾等の異物混入防止のため、製造前に金属探知機による検査を実施、又は検査済みの原料を仕入れましょう。また、製品に鉛等の残留物が含まれることを防ぐため、弾道付近の肉の使用は避けましょう。^{※1}

こんな原料は避けましょう

肉に混入した銃弾



寄生虫が寄生している肉



- ▶肉や内臓の異常は「カラーアトラス」(厚生労働省)を参考に確認しましょう。
- ▶筋肉内に白色の筋が見られた場合は寄生虫(住肉胞子虫)に感染している可能性があります。写真のように、寄生虫が大量に寄生している肉は廃棄しましょう。

ジャーキーの製造

- 設備や機械・器具は、こまめに洗浄と消毒を行いましょう。
- 肉の中心部まで十分に加熱することが重要です。

- ▶消毒を行う際は、アルコール消毒だけでは死滅しない細菌等もいるので、83℃以上の熱湯や次亜塩素酸ナトリウムなどの消毒方法を組み合わせましょう。
- ▶細菌等による二次汚染を防ぐためには、原料エリアと加熱後の製品エリアを区別することが有効です。

02

加熱が
重要です！
「乾燥＝加熱」では
ありません



- ▶細菌等の感染リスクを防ぐため、原料肉の中心部まで十分に加熱しましょう。
- ▶加熱温度と時間を決める時は、細菌や水分活性の検査を行いましょう。

【参考】人が食べる肉における加熱の目安

野生鳥獣肉による食中毒の発生を防止するため、中心部の温度が75℃で1分間以上又はこれと同等以上の効力を有する方法により、十分に加熱する必要があります。

出典：「野生鳥獣肉の衛生管理に関する冊子」(厚生労働省)



乾燥機

- ▶肉の厚さや気温等の条件により「加熱乾燥機」の設定温度＝肉の中心温度にならない場合があります。



ペットフード(ジャーキー等)から
サルモネラ属菌が検出されています

サルモネラ属菌は、犬や猫に嘔吐や血性下痢等を引き起こすことがあり、子犬・子猫・体力の低下している高齢犬・猫等にとっては非常に危険です。サルモネラ属菌は、一般的に熱に強く、乾燥に強いので、十分な「加熱」が重要です。詳しくは「ペットフードの病原微生物汚染防止対策の徹底について」をご覧ください。(FAMICホームページ http://www.famic.go.jp/ffis/pet/tuti/r1_1178.html)

(写真出典：内閣府食品安全委員会ウェブサイト)

出荷

- 封入時の細菌汚染や異物混入に気をつけましょう。
- 定期的に細菌等の検査を行いましょう。

- ▶ジャーキーを封入する際も、手袋や帽子、マスク、清潔な作業着を着用しましょう。
- ▶虫などの異物混入を防ぐため、窓を閉めるなど防虫防鼠対策を行いましょう。
- ▶乾燥剤や脱酸素剤は、適切な量を入れましょう。
- ▶商品のパッケージには、ペットフード安全法に基づき、ペットフードの①名称、②賞味期限、③原材料名、④原産国名、⑤事業者の氏名又は名称及び住所^{※2}について、日本語で表示することが義務付けられています。
- ▶賞味期限は適切に設定^{※3}しましょう。

※2 詳細は「ペットフード安全法 表示チェックシート」をご覧ください。
(<https://www.maff.go.jp/j/syouan/tikuzui/petfood/index.html>)

※3 賞味期限は、科学的・合理的の根拠に基づき設定する必要があり、次のいずれかの方法によって確認してください。
(ア) 自社あるいは外部機関による保存試験等の結果
(イ) 外部機関等による賞味期限設定のための試験結果
(ウ) 同様の原材料及び製法である製品の賞味期限を参考としている場合は、参考としている製品の規格(加工工程を含む)と当該製品との比較
(エ) その他、科学的・合理的の根拠に基づく方法
出典：「ペットフード安全法 表示に関するQ&A」(農林水産省)

03



商品の安全確認
のため、定期的に
細菌等の検査
を行いましょう



※1 ペットフード安全法では「有害な物質を含み、若しくは病原性微生物により汚染され、又はこれらの疑いがある原材料を用いてはならない」と定められており、また製品中の鉛の含有量には上限値(3μg/g)が設定されています。